



<平均の求め方>

※^{かりへいきん}仮平均…平均を求めるために決めた値

(例) 長縄跳び大会の各クラスの結果【仮平均を45回として考える】

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	46	42	50	38	43
仮平均との 違い(回)	+1	-3	+5	-7	-2

① 「仮平均との違い」の平均を求める。

$$\{(+1)+(-3)+(+5)+(-7)+(-2)\} \div 5$$

$$=(-6) \div 5 = -1.2 \text{ (回)} \rightarrow \text{仮平均より1.2回少ない}$$

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求める。

$$45 - 1.2 = 43.8 \text{ (回)} \quad \text{---} \quad \text{(平均) = (仮平均) + (仮平均との違いの平均)}$$

- 下の表は、長縄跳び大会の各クラスの結果(回数)と仮平均を45回としたときの仮平均との違いを表したものです。

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	47	41	51	46	38
仮平均との 違い(回)	+2	-4	+6	+1	-7

① 仮平均との違いの平均を求めなさい。

$$\{(+2)+(-4)+(+6)+(+1)+(-7)\} \div 5$$

$$=(-2) \div 5$$

=

回

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求めなさい。

$$45 - 0.4 =$$

回





<平均の求め方>

※^{かりへいきん}仮平均…平均を求めるために決めた値

(例) 長縄跳び大会の各クラスの結果【仮平均を45回として考える】

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	46	42	50	38	43
仮平均との 違い(回)	+1	-3	+5	-7	-2

① 「仮平均との違い」の平均を求める。

$$\{(+1)+(-3)+(+5)+(-7)+(-2)\} \div 5$$

$$=(-6) \div 5 = -1.2 \text{ (回)} \rightarrow \text{仮平均より1.2回少ない}$$

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求める。

$$45 - 1.2 = 43.8 \text{ (回)} \quad \text{---} \quad \text{(平均) = (仮平均) + (仮平均との違いの平均)}$$

・ 下の表は、長縄跳び大会の各クラスの結果(回数)と仮平均を45回としたときの仮平均との違いを表したものです。

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	47	41	51	46	38
仮平均との 違い(回)	+2	-4	+6	+1	-7

① 仮平均との違いの平均を求めなさい。

$$\{(+2)+(-4)+(+6)+(+1)+(-7)\} \div 5$$

$$=(-2) \div 5$$

$$=-0.4$$

-0.4回

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求めなさい。

$$45 - 0.4 = 44.6$$

44.6回

